



新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜び

白花

第22号：28. 7. 16

今月の例会は、女性陣が一人も出席出来なかったで、いつもの華やかさはなく、男ばかりの地味〜な例会となりました。



白花新代表「山ちゃん」の仕事の繁忙期がようやく一段落し、久しぶりに会の進行を務めます。

いつものとおり、前回例会から本日までの行事・イベント等の説明・報告があり、その中で、先週7月10日にツクイ稲穂でのそば打ちボランティアを、参加者6名で実施した旨報告がありました。

また、白花の主要な活動として喜茂別町双葉地区との交流がありますが、白花が超格安で新そばを購入できるのは、双葉地区で農業を営んでいるMさんがご好意で栽培・収穫していただいていたことなのですが、今年も貴重な畑の一

部に植えてくださったということで、時期になったらゴミ取り作業・唐箕作業をお願いしたいとの話がありました。

さて、例会の方はといいますと、KAZIさん、G10さん tanboさんが各々1.5kg打ち、体験者指導は tanbo さんが担当しました。

今回は新入会員の「ヒテ」さんが初参加で緊張していたようですが、「体験打ち」で打っていただく500gのそば粉の水廻しをしてもらいましたので、少しは参加した意義があったかと思います。またヒテさんは、友人が経営する仁木町の果樹園に朝早くに出向き、収穫したばかりの「サクランボ」を、例会の昼食時に間に合うように持って来てくださいました。

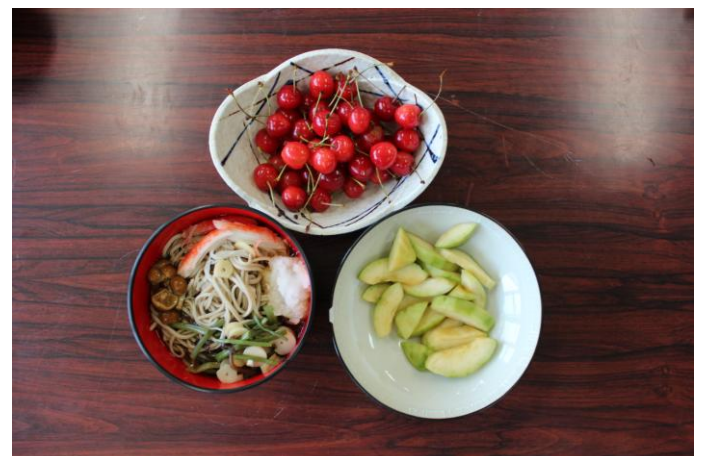


皆で感謝しながら完食。旬の物で美味しかったです。

恒例となりましたが上段位者による指導は、オガちゃんにはG10さんが、gouda さんにはかみさんが、トスカさんには tanbo さんが、MU-さんにはG10さんと tanbo さんが行いました。



さて、例会終了後の「納涼会&トスカさん合格祝いの会」は、12名が出席して大いに盛り上がりしました。





トスカさんのお礼の挨拶の後、各自が自己紹介をし、特技・趣味・現役時の職場等々の話で盛り上がり、杯を重ねるほどに酔いが回って、お互いの距離感が短くなったと感じました。

代表の締め挨拶の中で、「(今までは昼食後、後片付けをして午後2時くらいには帰っていたが、)会館は午後4時まで利用が可能なので、来月からは新入会員及び昇段試験予定者のために、時間ギリギリまで練習しよう。」という、ありがたいお話がありました。



したがって、指導者も時間の許す限り付き合って頂きたいとの事でした。

なお、今回の納涼会の会場は「**海鮮家 はこだてすすきの本店**」でしたが、さすがに「海鮮家」と詠うだけあって、イカ刺・ほたて・エビ等々、超新鮮で本当に美味しかったです。



1次会で素晴らしい会場をチョイスしてくれた TAKA さんは、2次会もセッティング済みで、アコーテオン演奏付きでステージのあるスナックでした。

2次会には10名が参加して、お店は貸し切り状態でした。白花の飲み会(2次会)で利用させていただいているいつもの某スナックとはまたちょっと雰囲気の違い、少し気後れしましたが、酔った勢いで tanbo さんが場を盛り上げるために最初に唄うと、後は雪崩を起こした如く、次にマイク

が回って来るのを暫く待つ様な状況となりました。

特筆すべきは、新入会員の「オガちゃん」が7口顔負けの歌唱を披露し、みんなの度肝を抜きやんやの拍手喝采を浴びました。

なかなか努力しても出来ない上手さで天性のものだと感心しました。

3時間タツヅリ唄って踊って疲れきって、地下鉄最終便前の便で午前様にならず、余裕を持って各々の家路につきました。

